

平成19年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

＜お知らせ＞ トマト黄化葉巻病の防除対策に関するお知らせがあります(11頁参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

マンゴーシロカイガラムシ(マンゴー)

学名 : *Aulacaspis tubercularis*



生態と被害

雌の体長約0.5mm程度で、淡黄色。介殻は約2.5mmで扁平、円形から楕円形、不透明な白色であるが葉面の色が透けて見える。雄は小型で細長く、背面に顕著な3本の縦稜線を呈する白色の分泌物を作る。我が国ではマンゴーにのみ発生するが、海外ではゲッケイジュやクスノキ科などにも寄生する。葉、枝、果実を吸汁して被害を及ぼす。多発すると顕著な黄斑を生じ、落葉させ、枝を枯死させる。年に数世代発生を繰り返すが、ほぼ年間を通じて幼虫から成虫までの各態がみられる。1980年代に沖縄県に侵入した種で、人為的に分布を拡大させ、近年鹿児島本土まで北上している。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。